



おいしいそば

東京都江東区立
深川第四中学校・1年
山木 香凜

私の兄は3年前に入院していました。兄の退院の日、秘密でそばを作りました。

「よし、じゃあ作ろう。」

と父が言って、みんな一生懸命にそば粉をこねました。よく、こねなければおいしくないそうなのでがんばりました。しかし、妹がつかれて、友達と遊びに行こうとしました。しかし、母が、

「お兄ちゃんのためにここまでがんばったんでしょ。今、やめていいの。」

と聞くと、

「やっぱり、もう少しがんばる。」

と言って、また妹も手伝いました。

それから2時間後、ようやくそばが出来上がり、そのころには、みんな空腹でした。お兄ちゃんを呼ぶと、

「そばを作ってくれたんだ。ありがとう。」

とつぶやきました。兄はこれまで、手術や薬など、とても大変だったと思います。だからみんな、そばを作って良かったです。

「いただきます。」

みんな空腹だったせいか、ペロリとたいらげてしまいました。お店のそばに味は負けてしまいましたが、心では負けない！そう思って、「また作ろう。」

と約束しました。

それから、約3年後。今では良い思い出だったなと思います。退院祝いでそばを作ったこともあり、兄の誕生日は必ずと言っていいほど、みんなそばを作ります。「お店のそばに味は負けるけど心は負けない！」ということを心にとめてまた、作ろうと思います。兄も元気になったので、そばやうどん、ラーメンを元気に作っています。やはり気持ちや心って大事です。